

診療ガイドライン策定に関わる参加者の利益相反自己申告書

(算出期間(西暦): 年1月1日～ 12月31日)

日本乳癌学会理事長 井本 滋 殿

申告者氏名: _____

所属(機関・教室/診療科)名: _____

本学会診療ガイドライン

委員会での役職名: (いずれかにチェック)

ガイドライン委員長

ガイドライン副委員長

ガイドライン委員、策定参加者

A. 申告者自身の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額

(1つの企業・団体からの報酬額が年間50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
報酬額			
役割(役員・顧問等)			

2. 株の保有と、その株式から得られる利益

(1つの企業の1年間の利益が50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
申請時の持ち株数			
申請時の株値(一株あたり)			
最近1年間の本株式による利益			

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を特許ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
特許権使用料・譲渡料			
特許名			

4. 企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など)

(1つの企業・団体からの講演料、アドバイザー会議出席報酬、などが年間合計50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業・資金団体ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
講演料の金額			

5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料

(1つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
原稿料の金額			

6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費

(1つの企業・組織や団体から、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた総額が年間100万円以上)

無	(有の場合は下記内容を各研究費ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
金額			
研究名			

7. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金

(1つの企業・組織や団体から、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた総額が年間100万円以上)

無	(有の場合は下記内容を各研究費ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
金額			
研究名			

8. 企業等が提供する寄付講座に所属

(有の場合、以下に記載)

無	(有の場合、寄附講座名、寄附講座での職名、兼任・専任の区分を記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
寄付講座の名称			
職名(兼任・専任の区分)			

9. その他の報酬(研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など)

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を各臨床研究ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
報酬額			
報酬内容			

B. 申告者の配偶者、一親等の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

当者氏名(申告者との関係) _____ ()

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額

(1つの企業・団体からの報酬額が年間50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
報酬額			
役割(役員・顧問等)			

2. 株の保有と、その株式から得られる利益

(1つの企業の1年間の利益が50万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を企業ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
申告時の持ち株数			
申告時の株値(一株あたり)			
最近1年間の本株式による利益			

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

無	(有の場合は下記内容を特許ごとに記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
特許権使用料・譲渡料			
特許名			

4. 企業等が提供する寄付講座に所属

(有の場合、以下に記載)

無	(有の場合、寄附講座名、寄附講座での職名、兼任・専任の区分を記載)		
西暦	年	年	年
企業・団体名			
寄付講座の名称			
職名(兼任・専任の区分)			

誓約: 私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本乳癌学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認しま

申告日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者署名 _____

受付番号 _____